4月7日 木曜日 6日発行
昭和30年 西暦1955年

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

発行所 内外タイムス社
東京都中央区[illegible]

第3059號 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日國鉄特別扱承認第232號)
(中華郵政台字第637號執照登記爲第2類新聞紙類・内政内誌證報僑内台誌字第0136號)

天気予報
今晩 北の風晴時々薄曇
明日 北のち南の風晴時々曇 のち遅くなって曇がち、ところにより雨

あすの暦 4月7日・木 旧3月15日
月齢 14.0
日出 5.21
日入 6.07
月出 後 6.16
月入 前 4.49
満潮 前 4.55 後 5.30
干潮 前 11.20 後 11.30
(大潮)

平沢の死刑確定す

最高裁、上告を棄却

拷問、不当拘禁認めず

帝銀事件の平沢貞通(六三)被告に対する上告審判決公判は六日午前十時半から最高裁大法廷で開かれ、直ちに田中裁判長から「上告棄却」の判決があり、事件発生いらい七年二ヵ月、上告してから三年半ぶりで一、二審の死刑の判決が確定した、公判には田中裁判長以下十四裁判官(井上裁判官欠席)最高検安平公判部長、川合主任検事、山田主任弁護人らが立会った、なお平沢被告は拘置所で上告棄却の報を聞いた、また山田弁護人は「再審申立など防御方法を取りたい」と語った

判決理由要旨

一、弁護人は帝銀事件の捜査のためこれと関係のない「日本堂事件」の不当拘置を利用し被告人に不利益な供述を強要したのは憲法第卅八条違反だと主張するが、検事ははじめから帝銀事件の取調べに利用する目的で故意に日本堂事件を起訴、拘置したものと確証する事実はないし、この拘置には違法も不当も認められない、だから日本堂事件で拘置中の被告人を帝銀事件の被疑者として取調べたことが直ちに自白の強制や不利益な供述を強要したことにはならないし、この取調べが約四十日間連続、約五十回にわたって行われたからといってその期間、回数のみにより自白の強要があったとは即断できない

二、被告人の自白は強制拷問によるものであり、不当長期拘禁後の自白であるから任意性に欠け、これは憲法卅八条違反だと主張するが、まず強制拷問については被告人の特異な性格は第一審での精神鑑定書によれば自己を弁護する能力に支障を与えるほどのものではないと認められるから、この理由により直ちに強制拷問の重要な素因とは認められない

また検事の取調について被告人が小樽で逮捕され、日本堂事件で起訴拘置された後、帝銀事件の犯人であるということを自白しはじめたのは事実だが、取調べが約一ヵ月の長期間にわたったからといってこれを以て強制拷問とはいえず、他の特別な強制手段を行った形跡も認められない、次に不当長期拘禁については被告人が帝銀事件の被疑者として取調中にさらに日本堂事件の被疑者であることが発覚したこと、また被告人が同時に複雑な虚言を織りまぜ、これが間もなく虚偽であることが判明するようなことを繰返し、被告人の特異性格から生ずる虚言癖にわずらわされて取調が延びのびとなったもので、取調が不当に長いものとは認められない、また被告人の[illegible]ば明らかで、これらの事実は認められない

三、事件当時平沢が青酸カリを所持していたという事実については被告人の自白があるだけでこれを補強する証拠はないから憲法卅八条に違反するというが、原判決によれば補強証拠はあるばかりでなく、またかような点についてまで補強証拠を必要としないことは当裁判所の判例に照して明らかである

四、弁護人は原判決に重大な事実誤認があるとしているが、この主張は適法な上告理由に当らない、しかし職権をもって考察してみると犯行に使用された青酸カリと被告人とを直結する証拠の有無については前に述べた通りで理由がない、次にアリバイの主張もまた同様理由がなく、犯人と被告人との同一性に関する証人の証言も採否および同一性の認定、松井名刺の同一性、筆跡鑑定についても同様な判決には誤りがない

五、絞首刑は残虐な刑罰と主張するが、死刑そのものをもって直ちに憲法卅六条にいうところの残虐な刑罰に当るとはいえないことは判例があり、現在わが国で採用している絞首刑の方法が他の死刑執行方法にくらべ特に人道上残虐であるとはいえない

帝銀事件最終判決の最高裁大法廷(正面中央が田中裁判長)と上は平沢被告

鳩山首相 所信を語る

日ソ復交、重光訪米中止など

外交方針変らず

"二つの交渉"急ぐ要なし

鳩山首相は六日午前十時半から音羽の私邸で定例記者会見を行い、中ソ国交回復・重光外相派米中止などの問題について次のように首相の所信を明らかにした

首相の所信言明の要旨は次のとおり

一、ドムニツキー氏から松本俊一氏にあてた回答の書簡はきたが、この回答で交渉地として東京かモスクワを希望してきた
一、交渉地に対する問題は一日二日を急ぐ必要はない、ソ連側の事情をよく確めた上で回答したい
一、派米中止は二ヵ月待てという[illegible]
一、日ソ交渉地の問題、重光派米[illegible]鳩山内閣の外交方針は既定方針[illegible]
一、内外政策の行詰りから鳩山内閣の危機というものもあるが、無為無策でいることはできない

問 ドムニツキー氏からソ連の回答が来たが
答 松本俊一君にきた
問 これを正式なものと考えるか
答 この文書は例によって署名がないようだ
問 これを発表しないのはどういう理由か
答 前の手紙は会議の場所は日本の欲するところでいいという文句があったようだから、こちらはニューヨークを指定した、こんど東京かモスクワでやりたいといって来たから外務省は問題としているのだろう
問 場所はそう問題にする必要はないではないか
答 とにかく日本としてはニューヨークと決めたのだから申入れに対して一日、二日を急ぐ必要はあるまい
問 一部にはソ連が国交調整に本当に応ずるつもりかどうかを疑う向きもあるがどうか
答 国交を調整すれば当然大使を交換する、だからソ連代表を認めるとかいう手続は必要ないのではないか、とにかく米国の勢力範囲でやりたくないというのがソ連の真意だろう
問 重光外相の渡米が取止めになったが、首相はどう思われるか
答 そう深刻なことではないと思う、米国に行って話をすることはよいことだし、代表なり適当な人をやって誤解をとくことは必要だと思っていた、重光君が行ってみようというのも当然だし、米国が一、二ヵ月待ってくれというのだから仕方がないではないか、このことによって重光君を不信任するとかいうことがちらほら出ていたが、そんなことはおかしいと思う
問 防衛分担金問題の解決のための外相渡米だったと思うが取り止めで困らないか
答 それはそうだが、どうかね
(傍らの根本官房長官にきく)
根本官房長官 そのことは今度のことで難航するとは思わない、互譲の精神で解決しようとする空気が出ているから、これで予算が編成できないということはあるまい

記者団と会見する鳩山首相(音羽の私邸で)

中共の内争・漸く深刻化

政府要人の粛清つゞく

共産主義国家における政府要人の血で血を洗う内訌は依然として後を絶たないが、中共でもこの例に洩れず、四日政治局員高崗上海副市長、饒漱石の除名追放の発表に次いで向明(元華東行政委員会委員)張明遠(元東北行政委員会副主席)張秀山(元東北行政委人民監察委員会主任)趙徳尊(元黒竜江政府主席)馬洪(元国家計画委員会委員)郭峰、陳伯某らが高崗ら二名の反党連盟活動に参加したとの理由で政治局から処分を受けたことが四日明らかになり、中共政府内部の内争がいよいよ深刻化していることが注目されるに至った

経済的な大陰謀

中共の通貨改革 国際市場攪乱を狙う

中共は去る三月一日通貨改革を行ったが、これは通貨膨張によるものでなく、国際市場の攪乱を狙った中共の巧妙で恐ろしい一大経済的陰謀だとする見方が広く国際的に行われている

今回の改革によると、新旧貨幣の交換比率は一対一万と称され、また英国ポンドでは従来一ポ対六万八千九百卅元が一ポ対六元八角九分三に改められており、中共政府は「これによって貨幣の計算について人民に便益をあたえた」と誇称しているが、自由主義諸国間では、この改革は中共経済の不振に基因しているのであるから、根本的には人民に便益をあたえるどころか、むしろ改革によって不便を生む悪政であり、中共一流の奸策の溢れた宣伝にすぎないとの観測が強い

また今回の改革によって中共政府は中共の通貨制度が国際的通貨制度と結びついているかの如き表現をとっているが、事実は中共の貨幣観念は金本位制、銀本位制の何れでもなければ為替本位制でもなく、単に物資本位であることから中共政府今回の発表は一流のウソで固められていると消息通は見ている、しかもこの物資本位にしても、中共治下民衆は配給物資によって最低生活を営むことを保証されておらず、結局民衆生産の物資は政府に抑えられて体よく搾取される結果となり、中共の自慢する「人民は国の財源」のスローガンが奇妙な形で実現している

今回の改革によって中共政府は民衆の手中にある企業を「新民主主義政策範囲」の中に入れようとしており、これによって民衆が永年にわたり築き上げた個人財産を体よく奪い上げようとしているとも考えられている、また改革を対英レートにのみ指向したことは、英国との連繋により米英の経済的紐帯を弱めようとの陰謀も秘めていると信じられ、東南アジアがフィリピンを除いて英ポンド制なのを利用して、東南アジアに対する軍事・政治・経済的の浸透工作に拍車をかけようとする意図であるとともに、自由主義国家群の間で強い警戒心を誘起する結果になりつつある

松本氏、首相と要談

日ソ全権に内定した松本俊一氏は六日午前十一時卅五分小石川音羽の私邸に鳩山首相を訪問、日ソ交渉に関するソ連側回答問題を中心に要談した

米の譲渡船二隻日本へ

【マニラ五日発AP=共同】日米相互安全保障条約によって米国から日本に譲渡された千百ト級の輸送船二隻は出迎えの日本フリゲート船一隻とともに五日マニラを出航、横須賀に向った

特別円処理協議

タイ外相、蔵相と会談

来日中のワン・ワイタヤコン・タイ国外相は六日午前九時半四谷の大蔵省別館に一万田蔵相を訪ね、ピニット・アクソン駐日タイ大使も同席のうえ、日本とタイ国との戦時特別円の処理問題について折衝した

日台通商交渉難航

【台北五日発UP=共同】消息筋によれば日台通商交渉は五日で十日目に入ったが、砂糖の輸出価格問題でいぜん難航している

英首相引退

後任イーデン外相

【ロンドン五日発AP=共同】英首相官邸は五日午後五時廿分(日本時間午前二時廿分)チャーチル英首相の辞任を公式に発表した、英首相官邸当局の発表文つぎのとおり

サー・ウィンストン・チャーチルは今夕エリザベス女王にお目にかかり、首相の辞表を提出し、女王はこれを受けられた

【ロンドン五日発ロイター=共同】チャーチル英首相の後継者にはイーデン外相が決定しているがその正式任命は六日になるはずでその前にイーデン氏はエリザベス女王と会見する

粋人辞事

惠の露

杉原游華

川柳のワじるし、いわゆるバレ句の優たるものは安永五年から廿数年の歳月をかけて上梓された「誹風末摘花」にとどめをさすが、これとても寛政の改革以来昭和の戦前までは公刊などは思いもよらず、大衆の眼に親しまれるようになったのは戦後のことである。例の一輪は初手赤貝は夜中なり」の第一句からはじまって全四冊二千有余の収集であるが、一般には時代的にいって難解な句も相当にある。

ところがここに、昭和の初期、現代のそれを狙って苦心の末、一冊をものしたところを忽ちにして当時の怖い眼に睨まれて一たまりもなく没収され、以後今日まで陽の目を見ずにいる句集がある。題して「惠の露(めぐみのつゆ)」という。

これをやってのけたのは川柳界の鬼才、河柳雨吉氏ほか数氏の努力であるが、当の雨吉氏は戦前の浅草菊屋橋警察署に呼び出されて箱弁の御馳走にまであずかっている。

今となっては、これしきのことと笑うかもしれないが、大体題名の「惠の露」からして、の字を一字外せば当局の最もお嫌いだったエロということで、当時としては一言の弁解も成り立たず、神妙に恐れ入谷の鬼子母神というところだったらしい。

収録七百余のバレ句は、註解なしに誰にでもバレ特有の醍醐味に酔うことが出来たのであるから、それなればこそまた、検閲の眼が三角に光ったのでもあろう。

ただの川柳でも人生の機微に触れて親しまれるものを、覗いてはいけないという世界を詠んだものなら、なおさら覗いてみたくなるのが人情の常というものである。

昭和もここに卅年、この一冊がものされてからかれこれふた昔も経過したのだから、当時の人間性実態を把握するという高邁な理由からも、風俗史の面からも貴重なものになりつつあるので、その一部にスポットライトを当ててみることは懸命に作句したそれぞれの作家に対しても、一朶の花を捧げる礼ともなるであろうから、比較的穏健な(?)句を抄出、紹介の労をとりたいと思う。

日本人形 だけで承知せず

ひざ枕 すの息を 股へうけ

公衆の面前に展開されるキッスシーンは勿論戦後の特産だが、いにしえの「口を吸う」といった時代からのこの国の接吻史は、決してあちらさんに負けるものではない。廿年前のこの二句、今でもそのまま通ける気がする。

偶数に奇数の旦那来て困り
異な網をおはいつとなく集め
あんまりな型へラシヤメン 楔を立て

いわずとしれたお妾さんの句であるが、ラシャメン(洋妾)などという文字がひどく懐しいのである。ラシャメンがそうならば花魁(おいらん)という名にもそろそろ昔の匂いが漂って来たようだ。

花魁は少しばむ泳をあけ
どうしたのさアと化粧くたびれる
割勘で来て回し部屋果く寝る

今でも回し部屋に相当する小部屋がないことはないが、そのかみのように枕屏風一枚で仕切られるようなことはない。割勘で来て寒く寝る位なら、屏風一重の相部屋で掛合いという、

洒落れた方が趣きがあったろうにとも思う。もしそれ、屏風の向うがご他人さまなら、

離れませんからと みせ場を云い
花魁は兵隊さんに疲れ切り

などの情緒も手にとるが如く、耳の穴に飛び込んで来た時代だったのである。

膝枕女の息を頭へうけ
助平な と思えど膝枕

ホネムーン(蜜月旅行)などという言葉も当時としては新しかったに違いない。二つ並んだ枕の一つは赤い箱枕でもあったろうか。

ホネムーン枕の並ぶ部屋に着き
はばかりへ立つて顔さ化粧をかけ
伊達巻になつて消しますよと脱ぎ

こんなのは今でも温泉場へ行けば、その後裔が厳として伝統を守り続けている。

市況

無気力閑散

大阪市場は労働問題でごたごたしている上に東京の紛争も成行が懸念されているので日証金融資残の廿三億円台減少もほとんど響かず市場は気乗薄い人気のうちに仕手、雑株とも無気力な商い出であった、特定株は目立った商内もなく東海上に野村の一万四千株売など見られ二円安となったほかいずれも小甘く雑落歩調、雑株は品薄中山鋼がマバラに七円高をしたのをはじめ日興、三井不など数銘柄が小確りしているほかは日立工、藤田興など小甘いものも散見され総じて値動きに乏しい閑散商状

▽高い株=中山鋼七円、日紡五円、東邦電化、白洋[illegible]、北海道、三井不三円
▽安い株=日本化、日立工、藤田興、旧物産三円

東京株式仲値

(新株落△配当落)(6日前場終値)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		昭電工	72	旭化成	299	カボン	51
東海上	279	日本曹	69	山陽パ	47	三井物	140
日[illegible]船	60	旭電化	71	日本パ	89	第一物	98
新三菱	87	三菱造	73	国策パ	94	白木屋	240
日清紡	275	三井造	104	東北パ	111	高島屋	79
味の素	282	三菱重	62	大東紡	91	日活	81
三越	272	石川重	94	郵船	54	松竹	190
平和不	195	[illegible]工	141	三井船	51	東宝	1240
三井金	110	東洋ベ	111	飯野海	44	大映	178
三菱鉱	94	日立造	43	西武	355	日本粉	117
日鉱	84	浦賀	44	藤田興	221	日清粉	146
住友金	102	日平	28	東京ガ	63	日本ビ	153
三菱金	44	古河電	70	東電	426	朝日ビ	167
古河鉱	71	日立製	70	日銀	1835	キリン	195
同和鉱	118	[illegible]	67	東銀	79	宝酒造	76
住友炭	65	三菱電	92	三井銀	—	台糖	185
三井山	61	小松	67	富士銀	85	明糖	102
北海炭	56	日本光	153	日証金	92	甜菜糖	100
東邦亜	67	キヤノ	143	安田火	112	野田醤	191
[illegible]白	62	東京光	—	大正海	90	製氷	258
日白	89	東洋紡	139	住友海	81	明菓	155
昭和白	87	鐘紡	129	千代田	76	日水産	74
[illegible]	146	富士紡	113	鋼管	68	[illegible]漁	79
三菱白	96	大日紡	83	日製鋼	74	東洋水	91
大協石	106	日東紡	61	八幡鉄	51	合同酒	92
日東化	68	片倉	35	富士鉄	49	三楽	75
日[illegible]化	70	呉羽紡	—	神戸鋼	61	大阪糖	139
三井化	86	東邦レ	104	日特鋼	137	王子紙	189
三菱化	99	[illegible]	64	日軽金	168	十条紙	203
[illegible]	103	中[illegible]繊	55	日金工	62	本州紙	84
東亜[illegible]	96	帝人	118	日セメ	128	三菱紙	91
信越化	79	東洋レ	156	磐城セ	244	北越紙	48
		三菱レ	118	小野田	77	三井不	784
				横浜ゴ	193	三菱倉	502
				旭硝子	135	三井倉	89
				富士写	117	澁沢倉	—

内外抄

チャーチル首相の引き際はまことに天晴れ。だが、大磯のサムライのお手本に選すぎたは残念。
◇
八十のチャーチル氏、首相はやめても政治はやめぬそうな。雀百まで踊りを忘れずとね。
◇
ニューヨークを避けたい気持はよく判るが、それでは話が違う。先が案ぜられる日ソ交渉。
◇
修学旅行に温泉、遊楽地を避けよとの文部省の通達は賛成。ついでに温泉地レッド・リストをつくるんだね。
◇
七年越しの帝銀事件ついに終止符、欠席裁判でうっちゃり食った平沢被告終生の恨み。

ないがい川柳

吉田抑司選

茶羽織も派手に城郭へ連れがあり 港 三上とんぼ
比較的多数公約まま[illegible]ならず 板橋 小山洞之助
なでしこにちと縁遠い女レス 横浜 渋谷夢生
年度末予算あまして左遷され 立川 山口毅
理屈には勝ったが妻にふて寝され 市川 永松紫朗
映画出た與論公判で実演し 文京 木村いつ秋

ジグザグコース

歌舞伎界のもめごと

中村鴈治郎、扇雀親子などの東宝歌舞伎出演問題が"歌舞伎王国松竹"に波紋をまき起したと思ったら、またもや坂東鶴之助が鴈治郎の貯銭を貰って、今月の明治座関西歌舞伎へ出られなくなったことを、坂東鶴助がとり上げ、松竹の大谷会長の不当行為であるとして提訴し、このところ歌舞伎界刷新の火の手が関西から盛んにあがっている。

戦後の歌舞伎不振を大谷会長とともに乗り切った菊五郎、吉右衛門、延若、梅玉、寿三郎など大名題が生きているときはよかったが、その人々の死亡とともに東京では海老蔵、幸四郎、勘三郎、歌右衛門、梅幸、関西では仁左衛門、鴈治郎富十郎、鶴助などかつての若手が芸の上でも押しも押されもせぬ中堅級を占め、お山の大将が続出するようになると、これらを傘下におさめて歌舞伎の劇場を独占してきた松竹の対人関係は、極めて難かしいものになってきた。

戦災にあった歌舞伎座を再建し首都の新名所にした大谷会長の功績は"文化勲章"もので、歌舞伎自体に対してもわが子に対するような溺愛ぶりだが、この大谷会長の親心を逆に名利のために利用しようとするものがいるからこの種の悶着が起ってくる。

労働攻勢の激しかった廿二年、因会、三和会両派に分裂した文楽座が、その後両派ともに併立し、しかも組合派なるが故に松竹から援助の手を断たれた住太夫紋十郎の三和会が山城少掾、文五郎のいる因会を向うに回して堅実に人形浄瑠璃に尽している自主独立の態度は、時代の波に乗っている歌舞伎の人々にとって他山の石とすべきでなかろうか。

それにしても映画に出て名を売ったり家柄の故に売れッ子になり、役不足を唱えたり、共演者への不足をいえるスターたちは幸福である。捕り手や端役の女中ばかりをやっているいわゆる"二階さん"といわれる大部屋の人々は薄給で酷使されながらも「好きで入った芝居道なのだから…」と舞台の隅っこで不平もいわずに黙々と働いている。封建色濃い雰囲気の中でこそ伝統的な歌舞伎芸術が維持できると信じていることの社会の人達は、今こそ眼を開いて時代の動きを正視しなければならない。(高)

【写真は坂東鶴助】

浅草の鬼 (131)

浜本浩 作
栗林正幸 画

與太者(四)

貫一が、ぜんそくの薬と偽ったのは、やッぱり、密売のヒロポンであった。右腕の静脈に、二本も流し込むと、見る見る容貌まで生生と変って来た。

「やア」

貫一は、なぜか、ぺこりと頭をさげた。上機嫌である。

「中毒かい?」

梧郎は、憐むようにきく。

「軽症さ、十五、六本だもの」

「今のうちに、やめろよ。発狂しない前にな」

が、貫一は、梧郎の忠告など耳に入らぬ様子で、

「俺のことは、梅子から聞いたろう」とうそぶいた。

「チョッピリね——まア飲めよ」

梧郎は猪口を差しつけた。

「酒は、まるで駄目だ」

貫一は、見向きもしない。

「ところで君は、梅子さんが舞台へ出ていることを知らなかったの[illegible]

[illegible]る。トオシロウのおめえじゃ、手が出せねえ。そこで俺を突ッついて、踊らそうというんだろう。お[illegible]

[illegible]の嘘とも思えぬふしがあった。

「なるほどねえ」

こんな貫一なら、何を話しても、危険はないだろう、と梧郎も安心し、

「ところで、さいぜんの話だ」

二日前の宵、貫一がアパートへ現われてからの、いちぶ始終を打ちあけた。

「警察に睨まれるのも、当り前だよ、君は」

「止してくれッ」

注射の効き目か、貫一は昂然と答えた。

「これでも、やくざの端ッくれだ。おめえの腹は読めるぜ。ズバリと当ててやろうか。おめえが睨んでやがるのは、ストリップ小屋の支配人だ。そうだ、羅生だ。ところが、そ奴には黒島組が付いてやが

花とづっこみ
そのあとから改札を出た男

第1話

刑事仲間の隠語で強姦のことをづっこみという。まことにそのものズバリの言葉だが廿七年四月の第二土曜日に西新井署管内でこのづっこみ事件があった。

場所は桜並木が二里続いているといわれる中川堤、届出時間は真夜中の十二時に近い、被害者はこの堤の中程よりやゝ川上にある農家の娘でS子といった十八歳である。

S子の家は農家だが彼女は女学校卒業後都心の商店へ勤めていて、その日は映画を見て遅くなり、バスがなくなったので国電の亀有駅から歩いて家へ帰る途中であった。

亀有駅の北口から日立亀有工場に沿って、ぐるりと工場の北側へ回り、中川堤へ出るには女の足では卅分近くかゝる。

彼女は土手に出て両側の桜の中を家へ向って一層足を早めた。その頃はまだ街灯もなかったし、人足も杜絶えていたので怖ろしくなってきたのである。

四丁程行って、もう一丁程で家だという時、いきなり後から来た男に抱きつかれて、

「騒ぐと川の中へ投げ込むぞ!」

といわれて、川の方へひきずられ倒されてしまったのである。

泣く〳〵我が家に帰ると、父親は百姓ではあったが、娘の教育には厳格であり、娘の恥になることだが、後々この様なことがあっては、とすぐ駐在所に届出た。

警察では殺人強盗について強姦は重大犯罪として扱うから、すぐ緊急手配をして、人の通らない現場へジープが飛び、各駐在の巡査は夜通し犯人を求めて自転車を走らせた。

無論S子も主任以下各刑事からこまごまと状況を聴取された。そしてその結果、大体犯人は廿四、五歳、紺の背広を着ていて、一寸酒臭かったこと等が判った。しかし、この様な場合には、もう恐怖心で半分気を失っているから確なことは判らないので、これだけでも判ればいい方であった。

当夜当直のA刑事は、まず犯人は近くに住むものと見通しをつけ、翌日亀有駅へ行って北口の改札係の者に内々事情を話し、S子と一緒の時刻に改札を出たもので、廿四、五歳、紺の背広を着た男はいなかったろうかと尋ねた。ところが駅では隔日勤務なので明日でなければ判らないという。

A刑事は尚も詳しく打合せをして、翌日はS子と一緒に行って当日十時頃改札で勤務した駅員に訊いた。すると駅員は、何か記憶がある様な気がするが、夕刻の退庁時に来てくれないかという、それらしい男が来たら合図をするというのである。

(大体)づっこみ事件というのは被害者にも若干の落度はあるもので、特に被害者がアプレのパン助の様な女であるといくら刑事でも捜査をする気が[illegible]が、S子の場合、歳に似[illegible]であったので、A君も同[illegible]

翌日夕刻亀有駅の北口でB君と張込みをやることにすると、六時頃、ぞろ〳〵[illegible]なかの一人を改札係が合[illegible]てそれと知らせた。見る[illegible]年格好はどうもそれらし[illegible]B君はひそかに尾行すると、S子の家よりはずっと駅に近い家へ入った。両刑事は確めて受持の駐在所へ行き、簿によって確めると、Oという廿四歳の男で意外にも某[illegible]

[illegible]見があったという。その翌日夜[illegible]を得て、その翌日夜[illegible]った。相手が先生で[illegible]一応任意同行の形で[illegible]るだろうと、帰宅し[illegible]って行ったのである[illegible]顔を見ると、Oは忽[illegible]り素直に同道し、警[illegible]たS子を襲ったこと[illegible]た通り花見の酒に酔[illegible]

検事も特に起訴猶予にしたが、この事件にはもう一つ話がある。

血にまみれたS子のズロースに札がつけられ証拠品として捜査主任の前に出されたが、どうしたことか泥に交ってズロースの内に一輪の花びらが入っていた。捜査主任はなかなかの詩人であって、これを見て、

「あゝ…花が散ったか…」

と、低い声で呟く様にいったのである。(佐藤晴一)

第2話　麻ヒ性ギ呆患

某町会長の娘[illegible]

中流以下の住宅、商店、工場等が櫛比するM町で、数年前の四月上旬から中旬にかけて痴漢が出没して御婦人連を震え上らせた。

中、便所の掃出し[illegible]突込まれて大変な[illegible]し、某社員夫人は銭湯[illegible]襲われ危うく暴行さ[illegible]て人が来て助かった[illegible]

[illegible]でも躍起になって犯人を[illegible]が中々捕まらない。ところ[illegible]十日ばかり経って犯人が[illegible]歳の立派な紳士で平素お[illegible]い男であった。

警察で調べられたが、す[illegible]医者の方へ回され麻痺性[illegible]呆症と診断され精神病院[illegible]入れられた。つまり脳梅[illegible]である。

奥さんが泣きながら医師[illegible]たところによると、彼は[illegible]から戦後にかけて某区役[illegible]済係主任をやっており業[illegible]待が多く度々遊里に出入[illegible]いるうちに梅の方と淋の方を一緒に患ったというのである。

「…それにしても、もう十年も経っていますし、安心していましたのに、こんなに経ってから再発するのでしょうか…」

奥さんの愚痴に対して医者は

「完全に治してないと、十年も十五年も経ってから出てくる事もあります。それに突発的に症状が出るのは春先に多いのです…」

と気の毒そうにいった。彼は幾分快方に向ったが見舞に行った者にニヤ〳〵しながら「どう、もアノ時花見に行った帰りに寝た芸者からうつったらしいが、十年前のが出るとはひどいもんだね…」

と他人事のようにいった。一見して何でもない様子なので余計気味が悪く、帰りにその見舞客は、自分も妄物は買わぬことだと、つく〴〵思ったそうである…。(KS)

花

"何ごとぞ花見る人の長刀" サクラに無粋は禁物、それ以上にとかく人騒がせな事件を惹き起すのもこのシーズンだ、春風に誘われてつい羽目をはずすのはまだしも罪のない方だが、家出娘にスリ、ケンカ、果ては花に背いてあたら人生コースを狂わせることも少くない、鏡子ちゃん殺し事件は、ちょうどいまから一年前だった、思い出も痛ましい心なき花の悲劇である、この罪は誰だ――花に罪ありか、人に罪ありか、説教文句はこれも無粋の限りだがニュースのメモを操って花の嘆きを聞いてみた

花にたわむれる蝶の姿か、みるだけなら罪にはならないが、ついその気になってしまうものだから

罪あり

酒ありて楽し、ツラし
ご用心　街を走る酔払い運転

花見どきとなれば浮かれ陽気に酔って街の悲喜劇があちこちにくりひろげられる、春のアンテナに引っかゝったその二つ三つを拾ってみた

○…去る三日、本社に投書が舞い込んだ、差出人は新宿区西大久保四の会社員金子光三さん(三〇)で、投書の内容は「銀座か新宿のキャバレーや飲み屋をハシゴ酒していているうちにどこかにカバンを置き忘れました、このカバンの中には現金一万三千円と、家で整理するため会社から持ちだした大切な会計伝票がはいっています、お金やカバンは拾い主にあげるから会計伝票は返してほしい」というのである、投書主を西大久保の自宅にたずねると、奥さんが心配気な顔つきで「主人はあれ以来寝込んでしまって口も聞きませんの、どうしたらよいのでしょうか…」とオロオロ

○…当の金子さんは「あれが見つからないと会社をクビになるんです、どうも浮かれすぎました」とガックリした表情

金子さんは一日夜、友人に貸した三万円が戻ったので会社の同僚と一緒に銀座の飲み屋やキャバレーを四、五軒飲み歩いてドンチャン騒ぎをやり新宿まで来たときは店の名前も覚えてないほどの酔い方でどうにか帰宅して、朝眼をさましたときカバンのないのに気がついて真青とな[illegible]

モダン歳々記
おじさま族元祖

宝暦九年四月七日、十四歳の信濃屋の娘お半と同町内の五十歳になる帯屋長右衛門の二人が互いに着物の裾を結びあわした心中の姿で京都の桂川から浮び上った。誰がみても情死であり、お半はしかも身重だっ[illegible]

その筋からの　お花見ご注意帳
スリ、粗暴犯が横行

空巣　一家総出で出掛けるときは、戸締りに十分工夫をこらし表通りから一目で留守宅と判るような戸締りやカギのかけ方(昼間雨戸をしめたり、木戸などに南京錠をかけること)は留守であることが判然とする)をせず、必ず隣近所によく頼み、警察では留守宅連絡を実施しているので交番に連絡して時々見回って貰うようにする、また近所では怪しい者を見かけたら皆に連絡して注意すること

搔払い　玄関や出入口を開放しておくと靴や雨傘を盗られるので、昼間でもカギをかけておき、窓ぎわなど表から手のとどくところに衣類や貴重品などを置かないこと、また表に置いてある木炭、薪、その他材料置場からいろいろな材料を盗む手口もあるので夜分はこれら品物の後始末をすること

スリ　ハンドバッグや買物籠ズボンのポケットは最も狙われやすいので外出には財布、貴重品のしまいどころに細心の注意を払うこと、乗物の中や花見場所等で居眠りしたり酔払ったときには持物に十分注意すること、もし同伴者が酔ぱらったら財布や貴重品は必ず預っておくこと、外出時には余分な大金を持ったりする場合、混み合う乗物は避けて人目につかぬようタクシーなどを利用することが安全である

粗暴犯　花見場所での深酒は喧嘩口論のもとになるから十分注意する、粗暴の行為やユスリ、タカリ等に見舞われたら花見場所だけでなく、各家庭でも泣寝入りすることなく、どんな小さな事件でも必ず速かに警察に届けること

痴漢　女の夜の一人歩きはしないこと、派手な扇情的な服装は慎み、相手に乗ぜられぬようスキを与えぬこと

乱痴気騒ぎのあとこの始末、介抱ドロの狙いどころ

浪人街道 (118)

木村荘十　野口昂明 画

ラジオとテレビ　6日(水)

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷四月ラジオ子供の歌 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話 松本亨 30 受信機講座 藤達 40 原子の国のアリス	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 ファイブ・ゲーム	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 ニュースワン楽団	00 劇「ポツポちゃん」 20 時代劇「神変稲葉童子」 35 歌謡百貨店
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 即興劇場 藤倉修一 中村紀子子 大塚博ほか	00 名曲鑑賞 無伴奏パルテイータ バツハ・作曲 30 科学の散歩「臨時列車の出発」明石孝・上田七郎	10 録音ニュース 20 花咲く街 二葉あき子 30 イタリア音楽❶チエバロ独奏北郷徳子❷独唱	00 録音ニュース 10 歌の星座 織井茂子他 30 落語❶とてちりちん 小金馬❷長屋の花見	00 ラジオタ刊 20 新人歌手登竜門 30 私のヒツトソング 松島詩子 マロニエの木陰
8	00 落語三題❶水おくれ 桂米丸❷裏の裏 桂小文治❸柿の酒 古今亭今輔	05 外貨予算と今後の日本経済・谷林正敏・平野三雄 30 農村の歩み 緑の週間に寄せて「山は緑に」	00 劇「バラいくたびか」勝田久 岩崎かね子ほか 30 今宵たのしく 越路吹雪 有島一郎ほか	00 歌のチヤンピオン 司会佐藤利彦 三条美紀他 30 劇「娘ひとり」金子信雄 杉葉子 信欣三ほか	00 ❶漫談 都家かつ江❷落語「しめ込み」柳枝 40 劇「浪花一代男」中村扇雀 中村鴈治郎ほか
9	05 ニュース解説小川和夫 15 ランボーの詩による「イリユミナシオン」独唱・福沢アクリヴイほか	00 舞台中継一俳優座劇場より一「大盗大助」臼井正明 小山源喜 須永宏 厳金四郎 伊島幸子ほか	00 劇「ホガラカさん」中村伸郎 轟夕起子ほか 30 しろうと寄席 司会牧野周一 木下華声 柳好	00 お好み歌謡曲 灰田勝彦 鶴田浩二 若原一郎 30 映画「シヨウほど素敵な商売はない」から音楽	00 浪花節「両国の川風」三門博 30 劇「目白三平物語」宇野重吉 小夜福子ほか
10	15 新しい道 青山京子 山内雅人 荒木玉枝ほか 40 ラジオ喫煙室森繁久弥	00 ❶初級解析 佐藤忠❷上級英語 梶木隆一 45 気象通報	05 きようのニユースから 15 劇「新選組」木村功他 30 イスタンブールほか	00 英文法 黒田巍 30 国語(現代文)長谷川泉	00 劇「南無三宝」小沢栄他 15 アームストロング特集 35 ドリーユのシヤンソン
11	10 ワシントンの桜だより 20 蛙の声 内田清之助作	05 双眼鏡メーカーを覗く 20 医学総会から山本俊平	10 二元討論会「死刑は廃止すべきか」金森徳次郎	00 劇「春の唄」青木千里 30 バツハカンタータ51番	15 かりそめの粧い 40 夏子のモデル舟橋聖一

テレビ

★NHKテレビ★ 6・00 漫画映画のスタジオ 6・10 があがあ・くらぶ 6・40 火災国日本 7・15 こんにやく問答 夢声・金語楼 7・30 短編映画 8・20 素人ラジオ探偵局 9・10 歌舞伎座から「親子燈籠」 勘三郎他

★日本テレビ★ 6・00 世界ニュース 6・15 行楽案内「武蔵野遊話」 6・30 ゼスチユアクイズ 7・30 漫画映画特集「ハチ公物語」「村の人気者」ほか 8・00 映画「仔熊物語」解説徳川夢声 9・00 今日の出来ごと

★KRテレビ★ 6・05 ホームグラフ 6・10 シネマ案内 6・30 短編映画 7・00 コメデイ「春風」笠間雪雄 橋本菊子ほか 7・30 産経会館から「ウイルヘルム・テル」滝沢修 宇野重吉ほか 9・00 毎日TVニュース

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 六神一	8・00 ルポ日本医学会総会	8・20 ラジオ・スケツチ	8・25 劇「青春のある所」	7・35 放送論壇 堀江憲雄
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	9・45 酒ずし(鹿児島産)	9・15 小説「第二の接吻」	8・00 ジーン・ケリーの歌
8・30 趣味の手帖 里見弴	9・30 ラジオ音楽国語教室	10・10 名作「おふくろ」	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 劇「サザエさん」
9・15 注意したい食品衛生	10・00 お話たまてばこ	11・35 音楽のスーツケース	11・35 連続劇「東京の人」	10・45 家計の知恵
10・50 けさの話題 紫田	10・30 季節と衛生の話	12・15 心中相談所 桃太郎	12・00 話の種 牧野周一	11・00 連続劇「信子」
11・15 朗読「暖流」櫻村治子	11・00 選抜高校野球準決勝	1・30 お母さんから先生へ	1・15 ラジオ寄席◇歌謡曲	11・35 朗読「道草」高橋博

雰囲気と味と美女
コーヒーマニヤの店　銀座西一丁目『れだ』

銀座西一丁目実業之日本裏並木通り小路にある「れだ」だろう。そこへ行けばうまいコーヒーがのめることをみんな知っている。味には絶対の自信があるというマスターの言葉に嘘いつわりはなく、イリ、ミックス、濃度まで細かい神経の行き届いた味はみごとだ。音楽はラテンの静かな名曲、漆黒の[illegible]

朝のコーヒーを味わいたいなら
銀座三「三共トリコ」

朝、一杯のコーヒーでのどを潤おさなければ仕事も何もあったものではない、というマニヤがある。こんな人に限って味だの香りだのが人一倍うるさいのだが、銀座ならしずめ二丁目の「三共トリコ」向きの寄だ。朝九時から十時までコーヒーのモーニングサービスをやっているし、一流レストランの味はかけ値なしの逸品。ラジオテレビもあるから清潔で落ちついた部屋に静かに憩えば仕事前の鋭気を養うにはもってつけだ。三共ビル地下室にある。

「暁の合唱」の清楚可憐な娘役女優…
青島純子が現れる　新橋の「バー・リッツ」

帝銀事件にピリオド
関係者の見解

この日平沢少しも騒がず　にここにこと歌一首

死刑確定の日、平沢貞通を小菅にたずねると、こげ茶結城の着物にお召の羽織姿でゆうぜんとあらわれ「いやご苦労さん」とニコニコしながら次のように記者の質問に答えた

問　上告棄却は予想していたか
答　山田弁護人から見通しをいわれていたので驚きはしない
問　現在の心境は？
答　いまさらあらたまっていうことはないが、家族の事を思うと泣くまいとしても涙が出てしまう
問　けさは…
答　いつもの通り朝食もたいらげたし、百十六枚目のテンペラ画も、いまやっと出来上ったところだ、独房の鉄格子の前にある葉ボタン、背景は小菅の春景色だ、いまの心境は「ちりの世を厚く覆える雲の上に光も清くけふの月かな」というところだ
問　足かけ八年の拘置所生活で特に感じたことは…
答　自分が死刑になるのは何とも思わない、今後のことも山田弁護人に一切任せてあるので、あまりくわしいことはいいたくない、しかし再審の申立ては当然やる、痔と脚気、それに黄疸に悩まされている、しかし、私は病気などでは簡単に死なないつもりだ、生きられるだけ生きて国民のために戦う

弁論もはや無意味
検察当局　長期の合議に信頼

裁きは終った—事件発生以来七年二ヵ月、上告以来三年六ヵ月、さしもの難事件も一審判決通り平沢被告の死刑確定でピリオドとなったわけだが、平沢自供の信頼性や物証のとぼしさをめぐって、また上告以来一回の弁論も許さなかった裁判所側の手続について、事件はなお後味の悪いシコリを残しているようだ、帝銀裁判は適正だったか？—検察側、弁護人側双方の意見と、第三者として戒能通孝氏の意見をたゞし、あわせて関係者の話をきいてみた

死刑は当然　高木検事談

口頭弁論なしでいきなり死刑の判決を下すのは人情からすれば非常に残酷だと思う、しかし刑訴法四百八条の規定で「上告趣意に理由がないことが明らかな場合は口頭弁論を開かず、判決で棄却できる」と認められている、十五人の…

弁護人、被告のいいぶんをよく聞くことが必要だろうが、他方迅速という立場からすればもはや意味のない弁論を聞く必要はない

人間的には平沢被告にたいし同情している、自分の検事生活のうちで死刑を求刑したのは平沢がただ一人で、私は個人的にも、理論的にも死刑はない方がいゝと常に考えている、しかし平沢の場合は…

裁判に対する信義に疑惑　戒能通孝氏談

私としてはこの判決が客観的な裏づけをもって慎重の上にも慎重を期して行われたものと思うほかはない、しかし平沢被告がもしコルサコフ氏病だとすれば自白は全くナンセンスだ、物証も名刺だけで果して被告を真犯人だと断定し得るかどうか非常に疑問に思う、また確証を得ずに「神のみぞ知る」と死刑を宣告するようなことがあれば本裁判にたいする社会的信義は全く失われることになろう…ったろうし、死刑という人の死命に関する事件である以上被告人、弁護人のいゝ分を聞いてやってもよかったのではないか

違法の"強要自白"
山田弁護人　抗議一切容れられず

判決の結果は予期した上告棄却でいまさら意外とは思わない、判決の要旨については
一、われわれの上告の論旨は全部採用されなかった、とくに法律論の違憲事実認定の問題は一蹴されている、最高裁の権威ある…

れ、その間に帝銀事件について当局は十分の資料を得られなかったので日本堂事件という軽微で拘置を必要としない小事件をよいことにして拘置し、帝銀事件の自白をとるために利用している、これ自体憲法第卅八条に…

た取調べは「自供に任意性がないから」というわれわれの主張にたいして、最高裁の判決は、検事の作成した調書自体からして検事が自供を強要した事実が明らかなのに、これを認めなかったことは非常に驚くべきこと…

精神鑑定と弁論に機会を！
自由人権協会理事長　海野晋吉氏

判決とは神ならぬ身の裁判官が、しかも、限りある時間内に導き出した一つの相対的な結論だ、人生の…二度と繰返しはきかない…な裁判にいったい絶…を結論づける権限が…刑廃止論の根拠もそ…たが、少くとも死刑…上、なすべき手続き…判の信頼性を固める…、この点肝腎の平沢の精神鑑定についてはさらに手段をつくすべきだったし、弁論の機会も十分に与えるべきだった、同じケースの三鷹事件が弁論再開の要求をいれて判決を延期したのにくらべてこんどの裁判所の態度はたとえ法的には落度がなかったといい逃れできても、法廷の威信に一つの不安を起す結果となった、被告の身としても何ともあきらめがつかないのではないか

死んだ両親思えば万感！
実弟　平沢貞敏氏談

（小樽市色内町六の七二小樽ミルクプラント勤務）兄が捕われてから間もなく父も母も無実を信じながら亡くなった—両親が亡くなったことは今でも知らせていないが、最近に至り小菅から寄せられた文面に「無罪と墓参に」といったことがあるので両親の死は知っているのではないかと思っている、別に兄に逢いたいとは思っていないが、ただしかし、子の無実を信じ、世間の白い眼と戦いながら死んでいった両親の心境を偲べば胸が一杯だ（小樽発）

六年前から確信
当時の捜査官安達、居木井両氏

帝銀事件当時捜査一課一係長としてこの捜査に当った現警視庁捜査一課長安達梅蔵氏と当時の捜査本部の花形だった現警視庁捜査一課二係長居木井警部はきょうの判決を聞いて次のように語った

安達捜査一課長談　私たち捜査官は六年前にすでに平沢が犯人であると断定しているのできょうの判決も正しい判断が下ったものと感じている

居木井警部談　この事件は長い間話題をまきわれわれも八十日間に亘って平沢の裏づけ捜査をやったのできょうの判決はもっともだと思う、私が真っ先に平沢に会ったのは忘れもしない廿三年六月三日でこの日平沢は私が質問する前に早くも事件当日の自分のアリバイを強調するので最初から変だと思って追及してきた、それが平沢逮捕のきっかけとなったものだ、きょうの判決は正しいものだと思うが平沢の家族の気持を思うと喜び笑えないものがある

宛ら思想公判
入口を三重固め　傍聴券求める被害者の未亡人親子

㊤は早朝から並ぶ傍聴人と㊦は事件被害者渡辺義康未亡人しづ子さん㊧と渡辺弥生さん

…銀椎名町支店出納主任渡辺義康さんの未亡人しづ子さん…二女…

「私は一審、二審もみてきたが平沢はゼッタイ白です」といきまいていた

◇…最高裁は国民救援会労組などのデモを恐れて南門以外は全部締切り、守衛を総動員して南門…

…公判警備隊員廿五名が応援にきてさながら左翼系公判のような有様だった、予想していた左翼系のデモもなく手持無沙汰の態—

自動車強盗捕わる
上野周辺の浮浪者二人組

…芳弘さん…は浅草田原町から上野不忍池まで乗せたいずれも廿四五歳、五尺一寸ぐらい、浮浪者風の二人連れの男にいきなり首を絞…同運転手が騒いだため…料金を踏倒し…上野署に届出た、同署で緊急警戒中、六日午前零時ごろ現場付近をうろついていた住所不定無職小林年春…を強盗現行犯で検挙した、調べでは小林は上野周辺の浮浪者で逃走した他の浮浪者一名とともに金ほしさにやったといっている

轢殺して逃走
乱暴自動車

六日午前二時五十分ごろ豊島区高南町一の六セブレス加工業古山登吉さん…はモーターバイクで新宿区戸塚二の一九先にきたところ新宿方面からきた大型自家用車にはねとばされ頭部強打で即死した、車は池袋方面に逃走

足立のポン密造所手入れ
器具など押収

本田署では五日夜十一時五十分足立区普賢寺五五四無職朝鮮人諸啓守（三七）方を覚醒剤密造の疑いで家宅捜索、ヒロポン五CC入りアンプル千五百本、ヒロポン液一升ビン二本（三千六百CC分）ヒロポン原末五十グラム（二万CC分）と密造器具一式を押収、諸と妻の除延礼…の二名を同現行犯で検挙、さらに諸の自供から六日午前一時ヒロポンの流し先葛飾区小菅町六〇八無職朝鮮人伊藤三郎こと李貴魯…方を同容疑で家宅捜索、ヒロポン五CCアンプル二百本を押収、李と内妻伊藤静子…の二人を同現行犯で逮捕した

調べでは諸夫婦は昨年九月ごろから自宅屋根裏でヒロポンを密造、五CC入りアンプル一本を十円ぐらいで李夫婦に卸し、李夫婦はそれを一本十五円ぐらいで茨城県土浦方面に流していたもの

歯科医飛込み自殺

六日午前十一時ごろ国電総武線小岩駅で江戸川区小岩町三の一九〇九歯科医中山正夫さん…は幕張発上りお茶の水行電車に飛込み即死した、遺書もなく小岩署で原因取調べ中

失恋服毒

六日午前零時四十分ごろ台東区上野公園内で中野区打越町二六会社員佐藤和夫さん…がブロバリンを飲み苦しんでいるのを通行人が発見、近くの黎明会診察所に収容したが一命はとりとめた、上野署の調べでは失恋らしい

日比谷で花まつり

日本花まつり会では来る八日、釈迦降誕を記念して午後一時から日比谷公会堂で花まつり大会を催す

あすのスポーツ　プロ野球（セ・リーグ）巨人対国鉄（二時後楽園）（パ・リーグ）毎日対東映（二時半駒沢）高橋対阪急（二時川崎）△野球生誕会記念高校最終日（一時神宮）東京社会人（十時霞町）△ゴルフ敬老会（六十歳以上）（零時半保土谷）△競馬浦和第三日（零時半）

桐生、明星に大勝
選抜高校野球準々決勝

【甲子園発】第廿七回選抜高校野球大会第五日は、六日午前八時一分から甲子園球場で明星（近畿大阪）対桐生（関東群馬）浪商（近畿大阪）対平安（近畿京都）佐賀商（九州佐賀）対高田（近畿奈良）若狭（中部福井）対県立尼崎（近畿兵庫）の準々決勝四試合が行われた、好天に恵まれたうえベスト・エイトの中で五校までが地元あるいは周辺のチームとあって観衆は早朝からスタンドを埋めつくした、第一試合は桐生が五回、打者十一人を繰り出すという猛攻で大量得点12—0で明星を破った

独眼灯

○…水産会社の小使さんが道端に落ちていた古トランクを開けてみたら手の切れるような千円札が四十五枚（四万五千円）入っていたのでビックリして月島署へ届出た

○…この正直者は豊島区西巣鴨一の三三四〇水産研究所小使山崎松治郎さん…で五日午後五時ごろ中央区月島西仲通り八の五先車通りにタテ二尺横一尺の古いトランクが落ちているのを発見、開いてみたら四万五千円と帳簿が出てきた

○…間もなく同六時ごろ中央区佃島一の一魚仲介商店員角田常君…が、お金の入ったトランクを落したと届出たので、この拾得事件は落着、正直小使さんは三千円をもらってニコ〳〵顔で去った

栄冠への祕策練る

都知事選　候補者の楽屋をのぞく

三選を狙う安井誠一郎氏とそれを阻止しようと立ちはだかる有田八郎氏、後を追う赤尾敏、貴島桃隆、須永伊之助、後藤帰一の各氏の卍の知事選も、告示されて九日目、届出と同時に活発な動きを見せているが、知事の椅子は果して誰が…、各候補者の選挙事務所の、いうなれば楽屋訪問をしてみた

有田派事務所　労組のビラに埋って　"デマには弱る"と運動員

くじ引きの結果届出第一号に登録された有田候補の事務所をまずのぞいてみる、春樹と真知子で一躍全国的な名所になった数寄屋橋近くのビルの二階にある、窓の外には、黄色地に黒文字の候補者の名入りポスターが十枚余り、ゴテゴテと貼られている、やっと人一人通れる裏の路地から、細い階段を上ると約十二、三坪の部屋があり卅名近いアルバイトの運動員たちが葉書に宛名を書いたりポスターの整理、ひっきりなしにかかる電話の取次ぎなどしていた

「火の用心」と書かれたポスターに並んで「必勝を期して頑張れ、有田君のために、河上丈太郎」という直筆の激励文や陣中見舞の酒五本や寄付金の額がズラリ書きつらねてある

事務局の男をつかまえて「どうです？」と尋ねると「どうも某派のデマ戦術には参りますよ、有田さんの奥さんが元やっていた料亭般若苑が脱税しているとか、何とか…あれは税務署と話合いが済んで収めたんですよ…、それに巣鴨の拘置所にいる戦犯服役者たちが選挙権を持っているのを狙って羊かんの差入れを贈って人気をとってみたり、まだ出来もしない橋の開通式をやって人を集めてみたり、全くやり方があくどいですよ…」と、強敵と目される相手方のやることなすこと気にくわんといった口ぶり

「うちは全くの公明選挙ですからナ、法定費用で十分まかなえますよ、連絡用の自動車も社会党両派から拠出してもらっているし、とにかく当選させます」と自信たっぷり一日二百五十円也のアルバイト学生が六人、いそがしそうに、ポスターの整理をしていた

小田派事務所

小田俊与候補の第二事務所は麻布三河台町の俳優座裏のアパート、第一事務所は東京温泉近くにある、一、二ともに街頭演説に出かけたのか、運動員は一人もいなかった

安井派事務所　正面に必勝の神棚　"三選に十年の実績"

安井誠一郎氏の選挙本部は、有田氏の事務所から三百メートルも離れていない、目と鼻のとはこのこと、三原橋々畔にある受付には来訪者の名簿が置かれ、正面に等身大の候補の顔写真がデンと飾られてある、二階に事務局があるわけだが、有田派の安っぽい椅子と違って、ふっくらとした椅子がデンと並び、事務長のところは、安井氏の友人たちが激励に来ている、ちょうど応接間兼会議室…この選挙のためにわざ〳〵造ったという木の香も新しい神棚が飾られてあった「信心家が多いのでね」と笑いながら

「堂々と押していこうというのがこちらの戦法です、三選をどうこういっているが、この十年間の実績を批判してもらいたいというのがわれ〳〵の気持です、日本一複雑した都政を外交ばかりで内政にうとい人が入ったところでどうにもならんじゃないですか…」と事務長やはり強敵が心配らしい

「有田派でいろ〳〵いってるらしいが、悪口をいう材料がないからですよ、私はそんなことがあったかどうかは知らないが、あったとすれば美談じゃないですか」とたまたま陣中見舞に来たらしいカップクのいい紳士がこう口ぞえした

「有田派では四百七万票のうち二百万とると意気込んでいるそうだから、われ〳〵は二百八十万票とりますよ、ワッハッハ…向うの唯一の自慢は演説会場で候補者が胴上げされたことらしいが、何のそれしき、われ〳〵のところでは毎回ですよ、現に葛飾で演説をきいていたチンドン屋が"東京を妙な色で塗りたくない"って踊りまくるほどの勢いでしたよ」と当るべからざる勢いであった

貴島派事務所

世田谷区若林町の貴島桃隆候補の本陣は米屋の隣り商店風—演説会に出かけたあとだそうで、奥さんが一人留守番「本部はこちらでしょ？」ときくと「築地の方です」という、築地の方へ電話してみると本部は若林町ですよという、どちらがどちらか判らぬが、若林町の事務所には「キジマ」と片仮名のポスターが、書きかけのまま置かれ"明治天皇大勲位伯爵東郷平八郎書"という古びた軸がポツンと、隙間風にゆられていた

須永派事務所

名古屋からはるばる都知事立候補でかけつけた須永伊之助氏の選挙本部は新宿区下落合一事務所は中流家庭といった構えの中にあった奥さんらしい婦人が出てきて「どうぞ」と案内する、四畳半と三畳の二間続きの部屋が本部なのだ、作戦でも練っていたのか候補者が、ドテラ姿で出て来て「七日から活動開始です」とのんびりした顔、あんまりのんびりなので当落なんて気にしていないのかと思ったら大間違い

「私の政見を公報や、ラジオ放送できいていただければきっと有権者も判ってくれると思います、…東京の選挙っていうのは不愉快ですな、各候補者がいやがらせや悪口のいゝあい全く今度の都知事選は泥試合の様相を呈していますナ」と語っている

赤尾派事務所　日の丸バッジで

浅草公園にある赤尾敏氏の選挙本部は、戦災をうけたまんまの鉄筋がむき出した家、ガタリと戸を開けると、破れ畳に茶の厚紙が鋲でとめられ、机が一つ、火鉢が一つ、襟に日の丸のバッジをつけた大日本愛国党員が五、六人、一生懸命葉書を整理している、出て来た候補が「私は都知事に当選しようとは思っていません、都庁に赤旗が立ってはいけないと思う信念から某候補をひきずり落すのが私の目的だ」

後藤派事務所

後藤帰一候補の事務所は御徒町の千代田園というお茶屋さんの店先にあった、街頭演説の旗（これがなければ拡声器も、街頭演説も出来ない）がポツンと、お茶の罐の横によりかかっていた　事務員二人、ポスター貼り二人、運転手一人という計五人の運動員が「そろそろ活動しますよ」と、腕章をさすっていた

㊤各労組からの「祈必勝」のビラも賑やかな有田派選挙事務所㊥真新しい神棚の飾られた安井派選挙事務所㊦愛国党員がハガキ書きにせわしい赤尾派事務所

125

エムさん　石川進介

続 情炎の千代田城 (79)

岩崎栄
寺本忠雄 画

そのシーン待った

物いいついた「バルテルミー」

「バルテルミーの大虐殺」に主演のジャンヌ・モロウ

映倫（映画倫理規定管理委員会）の審査によるカット勧告を無視して上映を強行した外国映画に対して、取締当局から非公式ながら注意が発せられて、公開途中でその該当シーンをあわててカットするという騒ぎが起き関係者間に話題をまいている

問題の映画は五日まで日比谷映画劇場で上映されていた仏リュックス・フィルム作品「バルテルミーの大虐殺」（演出ジャン・ドレヴィル）で一五七二年八月廿四日、フランスにおける新旧両教徒の確執からひきおこされた聖バルテルミー祭の夜の大虐殺の背景を描いたアレクサンドル・デューマ原作の名作「女王マルゴ」を映画化したもの

この作品は配給先きの新外映から二月初旬映倫審査にかけられたが、その際主役の女王マルゴに扮するジャンヌ・モロウの身体露出が過度である点や、大虐殺の当夜市民の婦女が全裸で河中に投げられるシーンなどに対して映倫より新外映に対して削除が要望された

しかしながら映倫は強権を発する権限を持たぬ機関であり、またそのジャンヌ・モロウが全裸で寝台にかけこむシーンなどはこれに続く行為を全く意味しておらず、むしろ夫を助けるための〝機転〟であるなどから両者の意見が合わず

女王マルゴが全裸で寝台へ

取締当局も非公式に動く

映倫の勧告を無視して上映中

三月廿九日から日比谷映画劇場でのロードショウ封切を強行、初日の観客動員は五千八百余で三日の日曜日には六千人を超すという好調を示し、同劇場で近来のヒット作といわれた「裏窓」とほゞ同程度の線を維持して劇場側をホクホクさせていた

一方警視庁保安課風紀係ではこの作品が余りにも刺激的であり過ぎるとして、去る二日、もしこのまゝ上映を続けるならば当然刑法第一七五条（公然ワイセツ罪）に該当する旨非公式に関係者に対して注意を発し、自主的にカットすることを要望したあわてた新外映では早速映倫に対して五日の上映よりカットすることを申入れて一応この問題は落着をみた、しかしながら一時は早くも当局が強硬策で臨むのではないかという風説も流れて、一部関係者を緊張させたものである

なおこのようなケースは昨年度に記録映画「原始林の裸族」「塵埃映画」等九本があるが、劇映画は今年この作品がはじめてである

関係者のいゝ分

まあたいした場面では……

映倫審査室談

そこでこれについて関係各方面に訊いてみると映画倫理規程審査室では

「三月初旬に新外映に申し入れたのですがね、そのまま上映したわけで、まあ、たいした場面ではないにしても、従来の映画倫理規程によってカットした映画と比べてみて、その方が良いと思ったからです、ところが新外映としては商策上このままの方が良いと思うと共に、アメリカメージャー十社が倫理規程に拘束されないでこれ以上のシーンを上映しているのだからかまわぬだろうということがこの問題の軸なのでしょう、二日に新外映からカットするといって来たようですが、それならばもっと早くその処置がほしかったと残念ですね、こんどはもっとズバリとやられると思いますよ」と語っている

当方に関係ない

東宝興行部談

また実際にこれを上映している東宝興行部では

「こちらは買って興行しただけなので関係はないが、ほっておくわけにはいかないので新外映に善処するようにと話合っていた、その返事は二日にしてあるはずだ」という

残念だがカット

新外映談

しかし一方の新外映では

「日本映画ではないし、フランス映画を理解してくれれば問題になるようなシーンではないですがね、しかし二日にカットをするとご返事しましたから解決しました、映画批評家の人々もあれくらいならといっていたのですが……」

といかにも残念そうである

新人山脈

ショウ　伊倉美耶子

花の素顔

司葉子

彼女は「あたしみたいに今まで化粧をあまりしなかった者がドーランを使うでしょ、それで肌が荒れるらしいの、嫌やなものよ、顔にブツブツができるのは」といゝながらも顔は新人らしく明るい表情をして愛想がよろしい、これなどはまったく出演映画五本目にしてスターダムにのし上げた彼女の、いかにもお嬢さんらしい育ちの良さがさせる笑顔といってもよかろう

雄々しく？ベソをかく

素直さが一番の強み

鈴木監督

美女を鋳型に塗り、盛りあがる胸にポタリ

真昼の工房の片隅、美女を鋳型に塗りこめて、四十男のニヤリ〳〵──と来ればちょいとしたスリラーだが、これはハリウッドのスタジオの話、アメリカ映画に初出演するイギリスのスター、ダーナ・ワインターが〝拉致者〟という作品の中で悪漢どもに せめさいなまりにポタリッと石膏を落とし満更でもなさそうな顔つき（UP＝サン）

…アメリカ映画初出演の
…ダーナ・ウインター